

ヨシノボリの
ゆかき

魚類

ウナギ

鹿児島市の川では25種の魚類が確認されました。甲突川下流や和田川の調査地点は河口が近いため、汽水域にすむ魚類もふくめ、多くの魚類が見られます。また、ほとんどの川で10～20匹のコイの群れが確認されており、一部の川ではブルーギルやチカダイなど外来魚が確認されています。一方、全国的に減少しているメダカがあちこちで確認されています。鹿児島では珍しいタウナギも見つかりました。



●コイ：食用の他、ニシキゴイも有名。コイには幼魚の頃からヒゲがある。



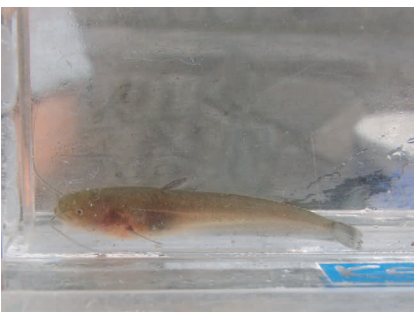
●カワムツ：濃い藍色の線がとくちょう。産卵期のオスは、あざやかな朱色になる。



●オイカワ：明るい瀬に多い。産卵期のオスはきれいな青、赤、黄色に色づく。



●タカハヤ：冷たい水を好むため、上流に多い。体はヌルヌルしている。



●ナマズ(幼魚)：在来の川魚では最大級の肉食魚。夜行性。ひげは4本ある。



●アユ：清流の魚として、古くから親しまれている。甲突川のアユ釣りが有名。



●メダカ：主に水田や水路など、止水域に生息する。全国的に数が減少している。



●スズキ：河口から中流まで生息し、1mをこえるものもいる。大型の肉食魚。



●ボラ：汽水域に多く、市街地の川でも見られる。水面を高くジャンプする。



●ヒナハゼ：体長1～3cm。下流に多く、石や落葉の下などに隠れている。



●タウナギ：元々日本にいたかは不明。水面から空気呼吸できる。へびに似る。



●ブルーギル：特定外来生物。湖や池に多い。魚の卵や水生昆虫を食べてしまう。



●ドンコ：水草の中や石の下にかくれて、小魚や水生昆虫などをとらえる。



●ゴクラクハゼ：下流の汽水域に多い。川底が砂地のところを好む。